

ぐるめ散歩

……カフェ&ダイニングバー……

トゥッティ ピウ
tutti+

イタリアンをベースにした創作料理と自家製のパンやスイーツ（ドルチェ）が楽しめるカフェ&ダイニングバー。

店主でシェフの山本加代子さん（40）は製菓・製パン学校を卒業後、イタリア料理店に約10年勤務、平成20年に西野川の自宅にカフェを開業。27年に喜多見駅近くにダイニング・バー「felicita di tutti」を移転オープン、今年3月まで営業していた。

都営粕江アパート近くに店舗を新築して5月半ばに開業した。



山本さん



☎3488-6119 和泉本町4-2-15 営業=午前11時30分～午後3時/5時～9時（緊急事態宣言中は8時）月曜・第3日曜休み

慈恵東通り



上和泉通り



イタリアンベースの創作料理 自家製パンやスイーツも人気

を仕入れるなど、吟味した食材を使っている。

店内はテーブル席やソファ席、カウンター席など合わせて

料理はキッシュ、ミートローフやローストビーフなどの肉料理と粕江産の野菜を使ったサラダ、パンを組み合わせた日替わりのプレートが中心で、ピッツァ、バーニャカウダ、ハンバーガーなどの一品料理、オードブル、スイーツなどが好評。また、持ち帰り用のBOX

OBENTOも人気だ。パンやスイーツなど多くが自家製で、西野川の農家から新鮮な野菜

18席あり、絵本などを置きキッズコーナーにも使えるスペースや大型のプロジェクトも備えている。犬を連れて人などに屋外のテラス席が好評。山本さんは「粕江産の野菜を積極的に使うほか、地元の人が気軽に利用できる地域密着型の店を目指しています」と話している。

■おすすめMENU■

ランチ=①日替わりランチ/tuttiプレート/キッシュプレート/ミートローフプレート/本日のパスタ各¥1,100（ドリンク付き）ディナー=本日のピッツァ¥1,100 / 彩り野菜のバーニャカウダ¥780 / オリジナルバーガー¥1,000 / クレームブリュレ¥550 / ガトーショコラ¥550 / ②BOX OBENTO=tutti・キッシュ・ミートローフ・日替わり・本日のパスタ（サラダ付き）¥1100（サラダなし）¥900（税込）



火起こしをする参加者

パラリンピック採火式 舞ぎり方式で火ともす

東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式が8月20日金西河原公園で行



「粕江市の火」を掲げる松原市長（左）と谷田部議長

われた。火起こしには舞ぎり方式と呼ばれる木の摩擦熱を利用した方法が採用

され、親子や学校の友人同士、目の不自由な人など7グループが参加した。参加者たちは2回に分かれて挑戦、汗だくになりながら交代で舞ぎりを回すと、数分で板から煙が上がり、点火棒に火がともると「疲れたけど、火がついてすごくうれしい」などと喜んでいました。

会場では、

市内などで演奏活動を行っている「ハウオリ・ウクレメイツ」が演奏、式典を盛り上げた。

起こされた7つの火は聖火皿にいったん集めて「粕江市の火」とした後、松原俊雄市長が点火棒を使って谷田部一之市議会議長の持つ展示用のランタンへ移した。

ランタンはあいとぴあセンターに展示された後、同日に都庁で行われた集火式で東京都の他の自治体と合わせて「東京の火」となった。

夏の畑で野菜収穫 とコンサート楽しむ

夏休み中の小学生たちに楽しい思い出を作ってもらおうと、こどもの多摩里食堂（西尾圭代表）と農家が共



畑で永井さんのヴァイオリン演奏を聴く子どもたち

催して、夏野菜の収穫体験と青空コンサートを7月25日日に催した。

参加した14人の小学生たちは和泉本町1丁目にある農園で、園主の飯田美郎さんから夏野菜の栽培のポイントや収穫の仕方を教わった。その後、畑に入ってよく育ったキュウリ、ナス、トマトを収穫した。続いて、粕江中学校出身のヴァイオリニスト永井由里さんの生演奏を鑑賞。夏空の下に響く美しい音色に耳を傾けていた。



松原市長から表彰状を受け取る（左から）鈴木さん、多藤さん、森さん

打楽器コンクール1等賞 三中吹奏楽部を表彰

粕江市は、国際打楽器教育協会主催の上海国際打楽器コンクールに初出場しアンサンブル部門少年の部で1等賞になった粕江第三中学校（工藤聡校長）吹奏楽部を表彰、功績をたたえた。

7月27日（日）に市役所市長公室で行われた授賞式には、三中から演奏した同部打楽器パートの多藤優太さん（3年）、鈴木凜さん（3年）、森陽幸さん（2年）をはじめ、工藤校長、同部部活動指導員で打楽器奏者の鈴木孝順さんら8人が出席、松原俊雄市長から功労賞の賞状が手渡された。市では、全国大会で優秀な成績を上げるなどで粕江市をアピールした場合に表彰を行っている。出演した3人の生徒は「オンライン出演なので、実感がなかったけど、コンクールの賞状を見たり、市の表彰を受けて実感がわいてきました」などと喜んでいました。同校吹奏楽部は8月8日（日）に府中市の府中の森芸術劇場どりーむホールで行われた第61回東京都中学校吹奏楽コンクールに出演、金賞を受賞した。

2年ぶり子どもの居場所 昼食提供など多数が参加

「夏の子ども・中高生居場所事業」が8月10日（日）

まち

13日 午前10時～午後5時に中央公民館で開

かれ、4日間でのべ343人の子どもと保護者が利用した。

「学ぶ・遊ぶ」「食べる」「体験」の4つのテーマで催され、11日から13日には子ども食堂などを行っている5団体で構成する「ごはんと居場所の連絡会」のメンバーらが昼食や持ち帰り用の手作りパンを提供した。曇りや雨など天候が悪



昼食を楽しむ子どもたち

かったにもかかわらず、多くの参加者が訪れた。

公民館では「入場制限など新型コロナウイルス感染症への対策を徹底して2年ぶりに開催したが、予想より多くの子どもが参加したので良かった」と話していた。

まがなま 勾玉作りチャレンジ 民家園で体験教室

古代のアクセサリ勾玉を作る体験教室が8月4日（日）と7日（日）にむいから民家園で開かれた。

参加した小学生たちは滑石という軟らかい石をコンクリートブロックやサンドペーパーなどを使って削り、1時間ほどで四角いブロックから複雑な曲線に仕上げた。

出来上がった勾玉にひもを通して首にかけた子どもたちは「宝物ができてうれしい」「夏休みの宿題として学校へ持ってい



ブロックで石を成形

きます」などと話していた。

市内6神社の秋祭り 今年も中止を決定

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内にある6つの神社すべてが、昨年に続いて今年も神事を除く秋祭りの中止を決めた。

各神社の氏子総代などが集まって協議した結果、急速に感染が拡大し、収束の見通しが立たない状況などを考慮して、太鼓や山車、みこしなどの巡行、出店、演芸・歌謡ショーなどを取り止め、最も重要な氏子万民の安泰繁栄を祈願する神事のみを行うことにした。

Start & Challenge

生き生きとした子育てができる居場所を作り、講座など開催

子育ての輪（花岡藍子代表）は、子育てを始めたばかりの0歳児の保護者の不安や孤独感を解消し、自分らしい子育てができる居場所を作ろうと平成29年に設立された。

30年には市民公益活動事業補助金のスタート補助金を受けて、クッションマットを使って赤ちゃんが安心して寝転がれる場所「あかちゃんのわ」を作り、「楽ちん抱っこ術」などのイベントを催し、乳幼児の母親から「乳児を連れて息抜きできる場所ができた」などと喜ばれた。31年は同補助金のチャレンジ補助金で赤ちゃんを寝転ばせるための厚手のラグや感染症対策グッズを調べ、活動場所を変えて開催回数を増やした。

現在はよしこさん家（元和泉3-10-4）



あかちゃんのわ

で毎週木曜日午前10時～午後3時に「あかちゃんのわ」を開いている。コロナ禍で利用人数を制限しているが、畳の上で遊んだり、庭で水遊びができる親子の居場所を提供し好評だ。

今年度もチャレンジ補助金を受けてイベントを開催、9月30日（日）に産前産後の訪問ケアを行っている畑順子さんを招き、子育ての疑問や悩みについてフリートークをする。11月には鍼灸師の横山博恵さんが銀のスプーンを使った小児はりセルフケア講座、1月には「知っておきたい赤ちゃんからの性教育座談会」、2月は、9月と同様のフリートークを催す。時間はいずれも午前10時30分～11時30分。

申し込み・問い合わせ Mkosodate nowa.komae@gmail.com 花岡。